

「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

課題名：潰瘍性大腸炎関連大腸がんの病態解明

1. 研究の対象

2009 年 4 月から 2024 年 3 月までに病理検体で大腸腫瘍と診断された 18 歳以上の潰瘍性大腸炎患者が対象です。

2. 研究期間

研究実施許可後~2029 年 3 月 31 日まで

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始(予定)日：2025 年 1 月 1 日

提供開始(予定)日：該当なし

4. 研究目的

本研究では、潰瘍性大腸炎関連大腸がん(Colitis-associated cancer: CAC)の発がん過程に発現変動する遺伝子を特定することを目的とします。

同遺伝子を特定することで、Low-grade dysplasia (LGD)/ High-grade dysplasia (HGD)/CAC の早期発見や治療方針に有益なバイオマーカーとなる可能性があります。また、同遺伝子を対象とした治療薬が開発される可能性があります。

5. 研究方法

通常診療で取得された大腸上皮病理検体を用います。発がん関連候補遺伝子について免疫組織化学染色法を用いて発現を評価します。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、病理検体番号 等

試料：大腸上皮病理検体 等

7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

8. 外国にある者に対して試料・情報の提供する場合

該当なし

9. 研究組織

本学単独研究

10. 利益相反（企業等との利害関係）について

本研究は筑波大学附属病院の教育研究費により実施する。本研究の実施にあたり、企業からの資金や寄付金、便益等の提供はありません。

本研究の研究者等に、開示すべき利益相反はありません。

1 1. 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

1 2. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：筑波大学附属病院消化器内科 澤藤拓
住所：茨城県つくば市天久保 2-1-1
連絡先：029-853-3218（受付時間）平日 9時から 15時

当院の研究責任者：筑波大学附属病院消化器内科 土屋輝一郎